

Lesbian Gay Bisexual Transgender

多様な性を考える映画祭

2015.7.11 (土)

13:00~

12:30 開場 17:30 終了予定

アウガ5Fカダール
AV多機能ホール

〒030-0801 青森市新町1-3-7(JR青森駅前)

前売券販売所

■青森市 / 青森松竹アムゼ (☎017-731-1177)
/ サンロード青森 1F 総合サービスカウンター (☎017-722-8117) / 成田本店しんまち店プレイガイド (☎017-723-2431)

遠方の方には郵送いたします。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

前売券

1日通し券 ¥2,000

上映される3つのプログラム全てをご覧いただけます。

1プログラム券 ¥1,000

上映される3つのプログラムの中からひとつお選びいただくチケットです。

当日券

1日通し券 ¥2,500

1プログラム券 ¥1,200

※学割チケット(通し券のみ) ¥1,500

チケットは全席自由席です。当日券は映画祭会場受付にて残席に応じて販売いたします。

※学割チケットは開催日当日に販売いたします。受付にて学生証をご提示ください。チケットのご予約は下記お問い合わせ先またはウェブサイトからお申し込みください。(学割チケットの前売りはいたしませんので、ご注意ください。)

映画祭終了後 懇親会開催

映画の感想などを語り合しましょう!

- 会場 / りんご箱 (アウガ地階)
- 参加費 / ¥2,500 ※食事・飲み物

お申し込みはウェブサイトまたはお電話で

お問い合わせ

青森国際ナショナルLGBT
フィルムフェスティバル実行委員会

☎090-6459-5136

※留守番電話の場合があります。メッセージを残してください。こちらからご連絡いたします。

✉ info@aomori-lgbtff.org

※会場内、会場付近での写真撮影は固くお断りいたします。※上映中の入場はできませんので、予め開演時間等をご確認ください。(上映が始まりますと会場内が暗くなり、足元が危険です)※会場内での飲食はできませんので、ご了承ください。ただし、アウガ5F会場前は、ベンチが設置されている館内公園となっており、飲食可能です。※再入場の際はチケットの半券を係員へご提示ください。

主催 / 青森国際ナショナルLGBT
フィルムフェスティバル実行委員会
協力 / 番川レインボー映画祭
デザイン / エイチピースタイリング

The Tenth Aomori International LGBT Film Festival

第10回青森国際ナショナルLGBTフィルムフェスティバル

SRS ありきたりなふたり ♀

東北初上映



彼女が「元男」だったら…愛し続けられますか?

「私ね…昔、男だったの。性転換したんだ」ミュージシャンのツツケンは、恋人ユイに意外な過去を告げられる。その過去を思うと、どうしても「一歩」を踏み出せないツツケン。

そんな折、ツツケンは謎めいた中性的な男・ミチルと知り合い「性的マイノリティ」が集まる不思議なバー「ライト」に入る。SRS=性別適合手術の存在や同性間性障害を抱える人々に触れ、少しずつ性と愛について考え、自分に真剣に向き合っていくツツケン。そしてライブの日を迎え、ユイにある「答え」を出すべくステージに立つ…。

■監督: 犬童一利 ■製作国: 日本 ■製作年: 2011年 ■上映時間: 50分
■言語: 日本語

I AM

東北初上映



インド出身のレスビアン映像作家の過去への旅路を描いたドキュメンタリー。インドには英国植民地時代の同性愛行為を禁止する刑法がいまでも存在する。かつて「家族」とともに暮らしていたデリーにある実家を訪れた監督は、ゲイやレスビアンの子どもの持つ親との対話を通して「家族」の真の意味を紡ぎ出しながら、「カムアウト」する前に亡くなった母との対峙と和解への道を模索する。

■監督: Sonali Gulati ソナリ・グラティ ■製作国: USA、インド
■製作年: 2011年 ■上映時間: 71分
■言語: 英語・ヒンズー語(日本語字幕あり)

カミングアウト

青森県内初上映



陽はゲイの大学生。サークルの同級生で親友の昇に片想いをしているが、大学のサークル仲間にも、一緒に暮らす家族にも、ゲイである事は隠している。唯一、新宿二丁目の行きつけのBar B b ではありのままの自分でいられる。

以前に比べれば、セクシュアルマイノリティも少しずつ生きやすい時代になってきた。しかし仲間達との友情や恋愛の他にも、就職や結婚など将来への不安は尽きない。

過ぎ行く日々の中、陽の周囲に起こる様々な出来事。いつしか、陽の中にある思いが生まれ始めていた。葛藤の末に陽が進む道とは…。

■監督: 犬童一利 ■製作国: 日本 ■製作年: 2014年 ■上映時間: 98分
■言語: 日本語(英語字幕あり English Subtitles)

『多様な性にYes! IDAHOメッセージ展』を同時開催します

日時: 2015.7.11(土) 12:00~18:00

会場: アウガ5F カダール AV多機能ホール前

※どなたでも無料でご覧いただけます。

共催: スクランプルエッグ

毎年5月17日のIDAHOT(International Day Against Homophobia and Transphobia: 国際反ホモフォビア&反トランスフォビアの日)は、同性愛やトランスジェンダー等への嫌悪や差別に反対する日として、世界中でイベントが開催されます。日本でも「多様な性にYESの日」として記念日になっており、メッセージを募集し街頭で読み上げるアクションや、講演会、展示会など、各地で様々な催しが行われています。

青森県では、県内のLGBTが中心となって活動するボランティアサークルであるスクランブルエッグが、多様な性をテーマとしたメッセージを展示紹介する取り組みをしており、2011年からは当映画祭とのコラボレーション企画として「IDAHOメッセージ展」を映画祭会場前にて開催しています。

今年も引き続き、このメッセージ展を映画祭会場前にて同時開催することとなりました。当日はご来場の皆様からのメッセージも募集・展示いたします。是非展示会場に足をお運びください。

映画とメッセージを通して、多様な性をより身近に感じていただければ幸いです。

※近年、IDAHOからIDAHOTに表記が変更されていますが、イベント名としては現在のところ以前の表記で行っています。



昨年のメッセージ展より

The Tenth Aomori International LGBT Film Festival

① SRS ♀ありきたりなふたり♀

13:00～13:55



第1回氷見絆国際映画祭(富山) 優秀賞受賞。関西クィア映画祭2012、第8回香川レインボー映画祭にて上映。

② I AM

14:15～15:30



シカゴLGBT映画祭(審査員賞)、リスボア(リスボン)・クィア映画祭(ベストドキュメンタリー賞)など、世界各地のLGBT映画祭で上映され、受賞歴も多数。

③ カミングアウト

15:50～17:30



第23回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭、第10回香川レインボー映画祭、第4回愛媛LGBT映画祭2014他、全国各地で上映。

「SRS ♀ありきたりなふたり♀」「カミングアウト」監督 犬童一利さんよりメッセージをいただきました。

この度は「青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル」にお招き頂きまして誠にありがとうございます。更に『カミングアウト』と『SRS～♀ありきたりなふたり♀～』の2作品を上映頂けるとの事で大変光栄です。両作品ともにLGBTがテーマとなっておりますが、企画の発端は全く別々のものでした。

『SRS～♀ありきたりなふたり♀～』は、主演の続城健太郎さんの実体験を基にした物語でして、所属事務所社長で本作のプロデューサーである高田さんよりオファーを頂き制作された作品です。2011年の秋に撮影をした作品が今改めて注目を頂ける事は大変嬉しい事です。キャストを始め、携わった人達も喜んでおります。

『カミングアウト』は、完全に私のオリジナルの企画・物語なのですが、元々は同性愛をテーマとした作品を作ろうというわけではありませんでした。心の中ではどこか不満を抱きつつも、流れて生きていける現代日本に対して不健全さを感じ、《自分と真剣に向き合う事》を描くために、選んだテーマが同性愛者のカミングアウトでした。

詳しい企画意図等は下記の2CHOPPOさんに記事にして頂いておりますので、よろしければ是非ご覧下さいませ。

【LGBT映画『カミングアウト』犬童一利監督2CHOPPO独占インタビュー】
<http://www.2chopo.com/article/detail?id=1018>

丁度、年始に別企画の取材で青森を訪れたりもしていたので、非常に縁を感じています。

私はLGBT当事者ではありませんが、映画の力を通じて、LGBTについての知識や理解が広まり、少しでも皆が居心地の良い社会の創造に繋がれば嬉しいです。是非、この2作品のメッセージが青森を始めとした皆様の心に届く事を楽しみにしています。

